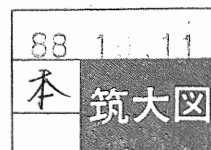


# 日本語と日本文学

## 第九号



「日本語と英語のモダリティに関する

計量言語学的対照分析」……………草薙 裕…(1)

源氏物語の中における朗詠と歌謡……………青柳 隆志…(17)

近世中期勧化本と草双紙……………山下 琢巳…(27)

——その影響関係について——

ある三島由紀夫像……………小埜 裕二…(38)

——<菊田次郎もの>をめぐって——

日本語における受動文の意味的特徴……………李 成圭…(左 1)

——漢語動詞を対象にして——

国語教育における読者論の射程……………上谷順三郎…(左11)

昭和 63 年 9 月

筑波大学国語国文学会

## 投稿規定

一、投稿論文は三十枚程度。

一、原稿ノ切は昭和六十四年二月末日および八月末日。

一、原稿送り先

305 茨城県つくば市天王台一―一―

〒 筑波大学文芸・言語学系事務室内

『日本語と日本文学』編集委員会

## 投稿案内

昭和六十一年総会で『日本語と日本文学』誌の年二回発行が決まりました。これは創刊当初に計画しました最小発行回数をようやく実現できたものであります。

これに従い、編集委員会では投稿規定を一部改め、二月末日および八月末日の二度締切を設けることにしました。論文の対象分野および枚数三十枚程度は従来通りとします。

学会の顔ともいふべき本誌の一層の充実は、強く願われるところです。学内外を問わず、広く会員の皆様の投稿を仰ぎ、さらなる発展を期したいと思います。

積極的に御協力下さいますようお願い申し上げます。

## 編集後記

第九号の発行がやや遅れましたことお詫び申し上げます。

年二回の発行も軌道に乗っていますことと感謝申し上げますとともに、一層の御協力をお願いいたします。

(桑原 隆)

昭和六十三年九月二十日印刷  
昭和六十三年九月三十日発行  
第九号

305 茨城県つくば市天王台

〒 筑波大学文芸・言語学系内  
編集・発行 筑波大学国語国文学会

代表者 伊 藤 博

発行所 (有) 笠 間 書 院

101 東京都千代田区猿樂町二―二―五  
〒 電話〇三(二九五)一三三一(代)

振替口座 東京 一―五六〇〇二